

○堺市立小学校アスベスト含有建築物における健康リスクの検証に関する懇話会の状況

【第 1 回懇話会】

- 日 時：12 月 24 日（金）14 時から
- 出席委員：東委員（座長）、伊藤委員、木野委員、小坂委員、近藤委員（全委員出席）
- 概 要：事務局から本事案の経過や現地調査の所見を報告、健康リスクの検証方法について議論
- 主な意見：天井ボードの一部に不具合が見つかった小学校だけでなく、アスベストが見つかった 4 校全てを検証の対象としてはどうか。
天井内の※アスベスト繊維数濃度を測定してはどうか。また、以前に行った気中濃度測定について、総繊維数濃度だけでなく、アスベスト繊維数濃度まで測定すべきではないか。
- 協議結果：健康リスクの検証については、4 校全てを対象とし、測定内容等を含めた検証方法について懇話会で議論していく。
※アスベスト繊維数濃度測定…アスベスト繊維だけを特定し、アスベスト繊維数濃度を測定する方法

【アスベスト繊維数濃度測定】

- 日 時：1 月 20 日（木）、21 日（金）
- 測定内容：令和 3 年 9 月に気中濃度測定をした際の試料を用いて、これまでに行った総繊維数濃度測定ではなく、電子顕微鏡によりアスベスト繊維数濃度測定を実施した。また、新たに 4 校の 3 階天井裏のアスベスト繊維数濃度測定を実施した。
- 測定結果：4 校のいずれの測定場所（天井裏、廊下、教室等、屋外）においても、アスベスト繊維数濃度は検出下限値未満（0.11 本/L 未満）であった。

【第 2 回懇話会】

- 日 時：1 月 31 日（月）10 時 30 分から
- 出席委員：東委員（座長）、伊藤委員、木野委員、小坂委員、近藤委員（全委員出席）
- 概 要：事務局からアスベスト繊維数濃度測定結果の報告、健康リスクの検証方法について議論
- 主な意見：今回の測定結果は、電子顕微鏡で観察した範囲でアスベスト繊維が検出されなかったことになる。
天井裏の気流ではアスベストが飛散していないことが、この数値から読み取れる。
今回の静かな状態の測定では、天井裏でアスベスト繊維は計測されなかった。この測定結果は、健康リスクを検証する際の一つのエビデンス（証拠・根拠）になる。
ドアの開閉や掃除等、子どもたちの日常（1 日のサイクル）をイメージして、動的（アクティブ）な測定条件を検討すべき。
掃除等での床からのアスベストの巻き上げ（舞い上がり）は、床にアスベスト繊維が落ちていないと発生源にならないのではないかと。
空気の流れとして、天井裏に気流はあるが、経験上、風量的には非常に少ないと考えられるので、天井裏に落綿（吹付け材の剥がれ）があったとしても、天井裏から廊下へのアスベストの飛散は状況的には考えにくい。
- 協議結果：動的（アクティブ）な状況を想定した健康リスクの検証を進めていく。
本日の懇話会の各委員の意見を整理し、学校への聴き取りやアスベスト調査の専門家の意見等も参考にしながら、次回（第 3 回）懇話会で引き続き協議することを確認した。

【今後の予定】

- 第 3 回懇話会を 3 月下旬に開催予定
動的（アクティブ）な状況での具体的な測定条件等の協議
- 第 3 回懇話会以降（4 月以降～）
動的（アクティブ）な状況でのアスベスト繊維数濃度の測定
測定結果をふまえ、第 4 回懇話会を開催予定